

令和 6 年度 にいがた市民大学講座プログラム（案）

「なぜ独裁体制は続くのか？」

1 趣 旨

独裁体制はなぜ続いているのでしょうか。2022 年時点で世界の 89 カ国が独裁（権威主義）体制とみなされ、世界の人口の 72%がそこに暮らしています。独裁体制はいまだに多くの人びとにかかわる問題です。現在の独裁体制は一昔前とは異なり、抑圧的手段だけでなく議会や選挙などの民主的な政治制度を巧みに活用しています。一見すると民主主義体制と思われる独裁体制も少なくありません。本講座では独裁者側の論理を踏まえ、独裁体制が維持される仕組みを理論と事例（中国、ベトナム、ラオス、カンボジア）から学びます。

2 曜日・時間 金曜日 午後 7 時 ～ 午後 9 時

3 実施方法 ハイブリッド方式（見逃し配信あり）

4 講座コーディネーター

アジア経済研究所動向分析研究グループ長 山田 紀彦

5 主な受講対象者（ターゲット）

政治や国際情勢（とくにアジア）に関心を持つ一般の方々

6 プログラム・講師

回	日時	テーマ（25 字以内）	内 容（60 字以内）	講 師
1	7/5 (金)	公開候補 なぜ独裁体制は維持されているのか？	本講座の初回では、独裁体制が増加する現状を理解するとともに、独裁者の論理と体制が持続する仕組みを理論的に学びます。	アジア経済研究所地域研究センター動向分析研究グループ長 山田 紀彦
2	7/19 (金)	公開候補 中国:中国共産党の生き残り戦略	中国共産党は、政権の維持という政治的命題のなかで、何を恐れ、その脅威にどのように対応してきたのでしょうか。中国共産党の生き残り戦略を考えます。	アジア経済研究所副主任 研究員 内藤 寛子
3	8/2 (金)	ラオス:「民主的」改革と抑圧による独裁体制の維持	ラオス人民革命党は「民主的」統治を装うとともに、抑圧的手段も駆使して巧妙に体制を維持しています。その実態を学びます。	アジア経済研究所地域研究センター動向分析研究グループ長 山田 紀彦
4	8/23 (金)	カンボジア:民主主義を装う独裁	カンボジアでは複数政党制の導入後も人民党支配が 30 年以上続いています。選挙に着目して同党による体制維持の仕組みを学びます。	新潟国際情報大学国際学部 准教授 山田 裕史
5	9/13 (金)	ベトナム:「人民の、人民による、人民のための社会主義法治国家」	日本企業の投資先としても人気のベトナム。その理由のひとつである「政治的安定性」がどのように維持されているのかを考えます。	アジア経済研究所新領域研究センターガバナンス研究グループ長 石塚 二葉
6	9/20 (金)	改めて独裁体制を考える	本講座の最後では、これまで学んできた理論と事例から、改めて現在の独裁体制について考えていきます。	アジア経済研究所地域研究センター動向分析研究グループ長 山田 紀彦